



7月の学校生活より



《校内研究 その2》（5年算数科の授業研究）

7月3日（水）に、研究主題を「考える楽しさと分かる喜びを実感できる算数科の授業」と設定し、5年生「合同な図形」の授業を行いました。今年度2度目の研究授業でした。既習の事項を活かして合同な三角形を作図することができました。さらにそれぞれの作図の仕方を互いに説明し合い、合同な三角形を描くには、最低条件として何が必要なのか気づくことができました。



《練馬中学校デイサービス訪問 その2》（4年）

4年生が総合的な学習の時間の中で、練馬中学校デイサービスを訪問しました。デイサービスに来所されている皆さんとゲームをしたり、練習をしたダンスを披露したり、職員の皆さんの仕事の様子を見せていただいたりしました。この活動の中で子供たちは素晴らしい体験をさせていただいて帰ってきました。

[児童の感想から]

- 町で困っている人を見かけたら、声をかけて、手伝いたいと思いました。
- デイサービスにきている皆さんに今回喜んでもらったので、またデイサービスに行って、楽しいことや喜んでもらえることを一緒にやれるといいと思いました。
- ヘルパーさんはデイサービスにきている方の様子をしっかり見ていて、必要なときに、優しく丁寧にお世話をしているのを見て、すごいなあと思いました。



《練馬美術館 スクールプログラム》（5・6年 図工科）

練馬美術館の学芸員の方をゲストティーチャーとしてお招きし、「練馬美術館 スクールプログラム」、5年「展覧会をひらこう」（6/12）、6年「レッツ！もじゃもじゃ」（7/12）の学習を行いました。

最初に沢山のアートカードの中からキーワードにあったカードを見つけるゲームを楽しみました。その後、アートカードの中から1～2枚選び、5年生は展覧会を企画するポスターづくりを、6年生は作品の絵を部分的に模写し、自分オリジナルの絵につくり変えるという活動をしました。

沢山の作品を鑑賞し、そこから自分なりのイメージを広げて新たな表現を試みることで、お互いの発想のちがいやおもしろさを、楽しみながら学ぶことができました。



《着衣泳》

本校ではこの時期、全学年で着衣泳を実施しています。今年は天候不順のため実施が危ぶまれましたが、実施可能なら長期休業前に子供たちに指導しておきたい学習内容の一つです。

「着衣泳」（着衣水泳）とは着衣のまま泳ぐことではなく、「いざというとき、呼吸を確保し救助されるまで浮き続ける自己保全を目的とした対処法です。着衣水泳では、水に落ちた時、大の字で仰向けの姿勢になり体の力を抜いて『背浮き』をする」（海上保安庁より）といったようなことを指導しています。

学校のプールで着衣泳を体験することにより、着衣時の動きにくさ、濡れた服の重さを感じるとともに、いざというときの心構えとして呼吸を確保した姿勢（背浮きやラッコ浮き）で浮き、助けを待つということが大切であること知ってほしいと思います。



【9月上旬の予定】

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2 集団登校 始業式 給食始 委員会	3 集団登校 身体測定(高) 保護者会(4・5)	4 B時程 集団登校 身体測定(中) 保護者会(1・2・3)	5 C時程 身体測定(低) 連合水泳記録会	6	7
8	9 全校朝会 安全指導 前日健診(5)	10 軽井沢移動教室(5)	11 B時程 軽井沢移動教室(5) 練中部活動体験(6)	12 軽井沢移動教室(5)	13	14 学校公開日 C時程